

# 令和元年度 島根県技術士会新年例会フォトレポート



島根県技術士会では、年1回、本会に所属する技術士が日頃の研究の成果を発表する新年例会を開催しています。

令和2年1月25日（土）に開催した令和元年度新年例会には、109名の会員が参加し、6つの分科会と防災部会及び個人研究の研究報告の発表がありました。



水資源・水環境分科会からは、山陰地方で最初に建設された近代水道施設である「旧美歎水源地水道施設」及び希少な形式（バットレス）の発電用ダム「三滝ダム」の概要、松江市の忌部浄水道施設との対比や山陰地方の水道施設の近代化などに関する発表がありました。



庭園文化研究分科会からは、庭の中央に雲龍形クロマツを植え七種の常緑樹で枯山水の庭を囲むという共通の意匠を持つ出雲流庭園について、庭木で縁起を担ぐ伝承に焦点をあてた研究報告がありました。

# 令和元年度 島根県技術士会新年例会フォトレポート



今福線研究分科会からは、広島と浜田を結ぶ広浜鉄道（未成線）今福線について、これまでの調査で明らかになった下長屋トンネルにおける断面形状の謎などに関する発表がありました。



生物多様性研究分科会からは、雲南市の一般の水田を主対象とした餌資源調査の結果及びコウノトリの餌場としての水田のポテンシャルなどについての発表がありました。



島根県B級遺産研究分科会からは、県内に現存する「木・コンクリート合成桁橋」である浜田橋について、状況調査結果と特徴などについて発表がありました。

# 令和元年度 島根県技術士会新年例会フォトレポート



エネルギー多様性研究分科会からは、松江市で建設中の地熱発電所や奥出雲町の小水力発電所の視察内容などに関する発表がありました。



防災部会からは、松江市内の小学校における防災教育の取組などに関する発表がありました。



各部会からの発表後、個人研究の発表がありました。

# 令和元年度 島根県技術士会新年例会フォトレポート



新年例会全体を通じて、各発表に対して参加者から様々な質疑が寄せられ、活発な意見交換が行われました。



懇親会には会員95名が出席し、本会の会員等によるギター演奏と歌唱の披露や、職場、職種、役職を超えた相互の情報交換を行い、会員相互の親睦を図りました。